

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 基礎的・基本的な内容の確実な定着と基礎学力の向上
- 学び合い活動を取り入れた授業の推進
- 生徒理解に基づいた個に応じた指導の充実

＜本年度の学力向上策＞

- 1 落ち着いた授業環境の下での丁寧な学習指導
 - (1) ユニバーサルデザインに配慮した学習環境、教室環境、言語環境を整え、すべての生徒にとって学習しやすい環境をつくる。
 - (2) 本校独自の「南中漢検・数検・英検」を行い、基礎学力の一層の定着を目指す。
 - (3) 道徳の授業を充実させ、道徳的実践力を高める。
【学力が向上していると思う生徒80%以上】
【南中漢検・数検・英検を年3回以上実施。3年生は年2回以上実施】
- 2 すべての教科における、学び合い活動を取り入れた授業改善
 - (1) 体験的、問題解決的な学習活動を取り入れた授業を推進し、思考力、表現力やコミュニケーション力を育成するとともに、確かな学力の向上につなげる。
 - (2) ICTを効果的に活用し、学習活動の充実を図る。
【先生たちが分かりやすい授業に努めていると思う生徒・保護者 95%以上】
【生徒が授業に積極的に取り組んでいると思う保護者 80%以上】
- 3 生徒一人ひとりの能力把握と、個に応じた指導の充実
 - (1) 生徒理解に努め、ティーム・ティーチングや少人数指導において、一人ひとりの学習の状況に応じた指導を実施する。
 - (2) 本校独自の「南中漢検・数検・英検」の事後学習を丁寧に行い、繰り返し指導を行っていく。
【一人ひとりを大切にしたいきめ細かい指導を行っていると思う生徒・保護者 85%以上】

＜本年度の振り返り＞

- ・本校独自の南中漢検・数検・英検を計画通りに実施し、事後指導や教え合い活動等とおして、「学力が向上している」と肯定的な評価をした生徒は79.5%となり、直近3年間で最高値を達成することができた。今後も継続して、さらなる基礎学力の向上を図っていく。
- ・すべての教科でICTを活用し、学習活動の改善・充実を図ることができた。「先生たちが分かりやすい授業に努めている」と肯定的な評価をした生徒は98%、保護者は84%であり、「生徒が授業に積極的に取り組んでいる」と肯定的な評価をした保護者は84%と高い結果が出ており、授業の工夫改善がなされ、意欲的な授業参加が見られ、基礎学力の定着・向上が達成できたと評価できる。継続していく。
- ・ティーム・ティーチングを複数教科で実施し、SAの適切な配置による学習支援を充実して、一人ひとりの学習の状況に応じた指導を施した。「一人ひとりを大切にしたいきめ細かい指導を行っている」と肯定的な評価をした生徒は、92%と高い評価を得ることができたが、保護者は、79%であったため、家庭との連携を図り、情報を発信し、保護者への理解を深められるよう改善していく。また、今後研修による教育相談手法の習得と組織体制の見直し・改善による生徒理解・情報共有に努め、生徒への指導方法や適切な言葉がけの工夫などを、課題としていく。